

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校

校長 大塚 潤

「学び」そして「成長」するひと

厳しい冬も過ぎ、少しずつ春の気配が感じられるようになりました。

春は、「別れ」と「出会い」の季節。学校においても「学年の修了」「義務教育の修了」と、「新たな始まり」という大きな節目の季節。

ちょうど1年前の4月、それぞれが新しい学年と

なりました。この1年間で、君達はどのように成長したのでしょうか。

日々の学校生活、級友との語らいや授業、大運動会や合唱コンクール、修学旅行や地域学習等々、君達一人一人がこれらの取組から実に多くのことを学び、1年前とは違う、大きく成長した君達が今

桜中にいます。そして君達だけではありません。君達と共に先生方も多くのことを学び、成長できたと私は感じています。そもそも、人はどうして「学び」そして「成長しよう」と努力するのでしょうか。

ここで、アメリカのオバ



朝の読み語り（2月19日実施）本年度も心の教育に地域の方が携わっていただきました。

マ前大統領（第44代大統領 2009年1月～2017年1月在任）ノーベル平和賞を受賞が行った演説を紹介します。

「今日私がお話ししたいのは、教育に対する皆さん一人一人の「責任」についてです。皆さんが正しい仕事に就くためには、そのための教育を受け、努力をし、学ばなければなりません。そして、これは、皆さん自身の人生と将来のためだけに大事なことでありません。皆さんが教育から何を得るかによって、まさにこの国の将来が決まるのです。皆さんがあらゆる授業で身に付ける創造力や創意工夫の能力が、国を発展させるのに必要となります。皆さんがこうした努力をしなければ、自分の国を見捨てることになってしまいます。」

以上の演説は、新年度を迎える子供たちに演説しました。

君達一人一人の「学び」という行為は、自分の将来のためだけでなく、社会が、地域が、ふるさとがよりよく発展し、多くの

人々が幸せを得るためにも大切なものだということです。それをオバマ前大統領は「責任」という観点から子供たちに語りかけました。

さて4月からは、新しい学校、新しい学年、新たな場所、新たな友や先生方との出会い、新たな「学び」が始まります。

君達の「学び」と「成長」に大いに期待しています。この1年間、君達はどのように成長したと感じていますか。そして春からは、更に自分はどういう風に成長したいと思っていますか。そんなことを考える3月にしてください。

やる気と記憶力を

高めるポイント

1/31付内外教育から
目白学園理事長
尾崎春樹氏

①得た知識は出力し使う
・思い出すことで確かになる。例えば、要点を殴り書き・声に出す・説明する・反復テストなどが有効。

②「面白い」の積み重ねが得意科目につながる。「嫌々」な学びは身に付かない。抑揚のない平板な記憶は長続きしない。「面白い」でも「悲しい」でもいいが、

人は知識を無限に記憶ができない。脳は生活や生存に必要な・有益な重要情報を取捨選択して長期記憶の回路に回すという

ことで、知識を定着させるには、情報を、「入力」するだけでは足りず、脳が情報を重要なものと判断するよう、「書く」「話す」「説明する」など、情報を「出力」して繰り返し使うことが有力な手段となる。

②一気には詰め込まず、間隔を空けて繰り返し返す。一夜漬けは効果も少なく、忘れるのも早い。その日か翌日に復習して思い出す訓練を。1～2週間後に再度復習で総仕上げ。

意外なことに、人は、覚えて直後より、睡眠をとった後の方が、情報が整理されて質のよい記憶になるという。また短期記憶を、間隔を空けて再度記憶していくことで、確かな記憶になる。

③小さな「なるほど」「面白い」の積み重ねが得意科目につながる。「嫌々」な学びは身に付かない。抑揚のない平板な記憶は長続きしない。「面白い」でも「悲しい」でもいいが、

小さな感動・喜怒哀楽を伴うエピソードは脳に深く刻まれる。

普段の授業でも、さやかな面白さを見出す工夫ができれば、その科目が好きになり、得意になっていく。

④中学から丸暗記は苦手になり、応用も利かない。理屈・背景・流れを理解して覚えよう。

人の脳は、中学生頃から丸暗記が苦手になるという。地名や年号などは、背景知識やことの流れを理解して覚えるとか、語呂合わせなどを有効活用した方がいい。英単語も、単語帳で覚えても応用が利かない。短文の中で覚えていく方が合理的だ。

メティン大作戦の感想

◆生徒◆

・メディアを使わない時は家族との会話が增えてにぎやかになった。また、姿勢に気を付けていたのので体がだるいとかきついかと思う瞬間がなくなつた。目が近い時があるのでもそれを課題にしてい



2/20学校保健委員会 生徒会執行部
頑張りました。「グレードアップ 桜中！」

・「メディア」のDaysは意識して行った。そうすると深い眠りにつけた気がした。たくさん寝て大谷選手のようにになりたい。スマホやテレビを見ない時間は勉強をしたり運動を取り入れたりしていた。メディアにとらわれすぎず、勉強時間や適度な運動などの時間を確保していきたい。

・思ったより自分がメディアを使っていることに気付けた。「一日これだけ」と決めていても実際は長くしていた。これからは今自分がどういう状況なのかを理解しメディアとうまく付き合っていきたい。

・寝る前のメディアをやめたい。これからの課題。・メディアにチャレンジしたことで達成感という気持ちで取り組むことができた。しっかりとルールを守り、睡眠もしっかりとることができた。時々、起きる時間が土日とか遅かったりした時があったので、これからは土日も平日と同じように早く起きたい。

・家族で会話が増えたことはよかった。子供と一緒にメディアに対して考えるよいきっかけになった。・夜遅くまでゲームをしたり動画を見たり、帰宅してからでもずっと携帯電話を離れません。注意しても守らないのもどきどきつくしなないといけないかなど悩んでいる。

・メディアの使用時間を減らすことで勉強を自ら進んで取り組むことが増えていた。これからの課題。・メディアに対する意識の向上につながった。家族の会話や勉強を増やせた。寝る時間をもっと早くする。

・家族で会話が増えたことはよかった。子供と一緒にメディアに対して考えるよいきっかけになった。・夜遅くまでゲームをしたり動画を見たり、帰宅してからでもずっと携帯電話を離れません。注意しても守らないのもどきどきつくしなないといけないかなど悩んでいる。

・家族で会話が増えたことはよかった。子供と一緒にメディアに対して考えるよいきっかけになった。・夜遅くまでゲームをしたり動画を見たり、帰宅してからでもずっと携帯電話を離れません。注意しても守らないのもどきどきつくしなないといけないかなど悩んでいる。

・家族で会話が増えたことはよかった。子供と一緒にメディアに対して考えるよいきっかけになった。・夜遅くまでゲームをしたり動画を見たり、帰宅してからでもずっと携帯電話を離れません。注意しても守らないのもどきどきつくしなないといけないかなど悩んでいる。

画竜点睛

いよいよあと1週間で3月。自然を注意深く観察すると春の訪れをそこそこで発見することができます。子供たちもそれぞれの努力が実って、学業やスポーツ等で満開の花を咲かせてくれると、とても嬉しくなります。

子供たちは本年度の目標を心に決めてスタートしてから、早くも1年間が過ぎようとしています。本当に月日が経つのは早く感じます。特に、毎日毎日一生懸命に、そして力一杯頑張ったりすると、なお一層早く感じるのだと思います。3年生は、学校での生活も後3週間ほど残すだけで卒業を迎えます。最上級生として多くの場面でリーダーとなって、下級生を引っ張り活躍してくれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。1・2年生たちも3月は、この1年間の締めくくりをし、次の学年への準備をする月でもあります。

中国の故事に「画竜点睛」という言葉があります。「竜を描いて最後に【眼】を描き入れたところ、壁に描いたその竜が、たちまち天に昇っていった」という内容の話。このことから「物語の重要な部分となるところ」「物事の最後の大事な仕上げのこと」を「画竜点睛」といい、【睛】は【瞳】と同じ意味だということ。「睛」の字は目へんではなく、目へんになっていることから分かります。

竜の絵を描くことと、子育てには共通点があります。地域も学校も家庭も竜の絵が完成していくようにと子供の支援をしていきます。子供と伴走していきます。すると、子供自身も自ら絵を描き始めます。後は目を入れるだけという時期はいつなのでしょう。いずれにしても最後に「眼」を入れるのは子供自身なのではないでしょうか。

「たちまち天に昇っていった」ようになるためにも、心を込めて竜の絵をつくりあげなければなりません。心も体も大きく成長し、幸せに豊かに生きていくための基礎基本が身に付く中学生の時こそ、人間としての最も大切な「眼を入れること」、すなわち「自立・自律に向けた準備をすること」を私たち大人は忘れてはなりません。これを怠ることは、まさに「画竜点睛を欠く」ということになり、メディコンルールもその一つ。

その仕上げを見守り、手助けをするのが私たち教師や家庭・大人の役目であると考えます。これからも、一人一人の生徒たちが【瞳】を輝かすように、お互いに知恵を出し合い、協力していく地域・家庭・学校でありたいものです。4月からの子供たちの更なる成長を願い、学校・家庭・地域が一体となって子供の豊かな成長を支援しましょう。

ひとりになれる ひとつになれる ～ 打ち込め 粘れ 欲を出せ ～